

未来につなげる小松の魅力ある農業

計画推進期間：令和6年度～令和14年度

小松市における農業振興の主要な課題を「農業・産地を支える担い手の安定的な確保（担い手数の維持）」と「持続的な農業経営が可能となる所得の維持・向上（農業所得の向上）」との解決であるとし、解決に向けて取り組むための施策を位置付け、小松市・JA小松市・農業者などの関係者が一体となって、本市農業を持続可能なものにしていくことを目的とします。

基本方針

<担い手数の維持>

1 持続可能な小松の農業を支える「人づくり」



集団営農組織など既存農家の維持や親元就農者の確保による事業継承、新規就農者の支援による農業を支える人材を確保するとともに、農業技術の習得支援や機会の創設を通して、農業を支える人材を育成します。

取組	内容
① 集団営農組織化など地域の営農活動の継続支援・親元就農者の確保	人手不足の解消に向けたマッチング／集落別担い手確保対策の推進／適正かつ効果的な支援／親元就農者の確保
② 新規就農者の支援	新規就農者（IターンUターン者を含む）の募集と支援／いしかわ耕稼塾（県経営）への派遣補助制度／アグリスクールの運営体制の構築
③ 農業技術習得支援、機会の創出・先端的な技術導入の推進	技術研修会・経営講習会の実施／働きながら学べる支援制度の創設／先端的な技術（スマート技術等）導入に向けた実証実験・支援

基本方針

<農業所得の向上>

2 農業の魅力を高める「生産拡大と販路拡大」



農業の魅力を高めるために、所得の向上を目指します。このため、市では、特別栽培米（玄米、えちゃけな、エコ育ち）の生産拡大及び販路拡大を行います。更に、経営支援の行政補助の活用や売れ残り・規格外品・飽和品の価格化に取り組み、農業所得の向上につなげます。

取組	内容
① 特別栽培米（高収益米）の生産拡大	特別栽培米（玄米、えちゃけな、エコ育ち）の生産拡大の可能性についての検討／「ひやくまん穀」の生産拡大と特別栽培米化の可能性についての検討
② 特別栽培米（高収益米）の販路拡大	学校給食での特別栽培米の消費拡大／関西圏等の卸売り業者への販路拡大／「ひやくまん穀」の販路確保／JAあぐり等の活性化
③ 魅力ある農業の推進	環境保全型農業の推進／Jクレジットの売却／持続可能な農業に向けた支援
④ 売れ残り、規格外品、飽和品の対策・麦や大豆等のブランド化	売れ残り・規格外品・飽和品の活用方法の検討／麦や大豆等の産地化・ブランド化の検討

基本方針

3 小松の農業を考える「場づくり」



基本方針1と基本方針2を実現するために、実態調査の実施により、現況と課題を把握し、解決策や支援策を検討するため、市、JA、農業者などの関係機関が話し合う場を設けるなど、連携を強化します。また、食育等を通して、本市の農業に関わる人達が集まる場や仕組みを作ります。

取組	内容
① 現状把握と課題解決に向けた場づくり・現状把握と課題解決に向けた連携	実態調査の実施／市・JAの調整会議の開催／市・JA・農業者の座談会の開催／関係機関との連携強化による課題の早期解決／食育の推進

目標値

大項目	項目	目標値
担い手数の維持	認定農業者数	250人（法人組織も含む）（令和4年度233件、県農業振興部調査）
	担い手への農地集積率	80%（令和4年度77.7%、石川県の目標値：80%）
	新規就農者数	4人／年（4.2人／年、農業青少年等動向調査、3年間の年間平均新規就農者数）
農業所得の向上	特別栽培米の栽培面積	3年毎に5ha増加、9年間で現状より15ha増加
	平均所得	平坦部：概ね380万円 中山間地域：概ね300万円
	農業への魅力有無	50%以上（令和5年度42.1%、JAアンケート調査で「農業に魅力を感じている」と答えた人の割合）